

各政党マニフェスト 若者度評価



ワカモノ[●]マニフェスト 策定委員会[●]
Youth Policy2010

趣旨・目的

- 「未来を長く生きる」若者の視点から各政党のマニフェストを解説。「自分たちのことを考えてくれている政党はどこなのか」を判断する材料にしてほしい。
- 各政党には、若者視点を強く意識させ、世代間格差を是正させるインセンティブを与えたい。



採点対象・採点方法

- 採点対象

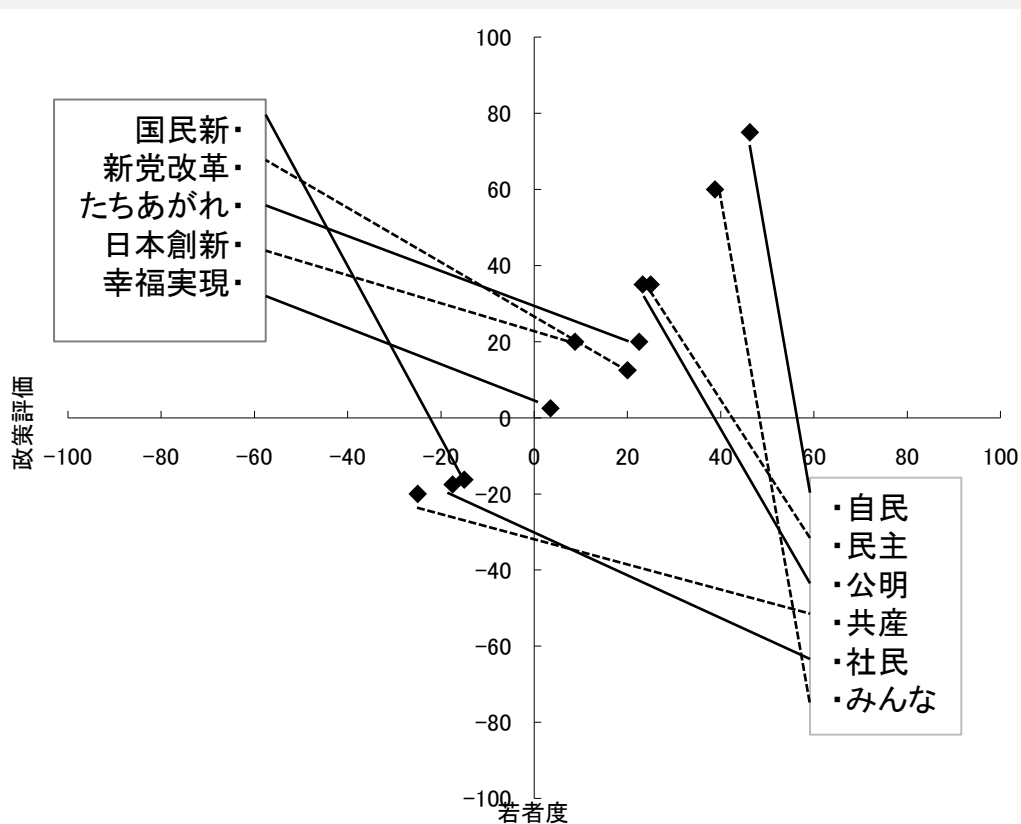
- 採点対象政党は、参院選候補者擁立を表明し、マニフェストも発表している11党。
「自民」「民主」「公明」「共産」「社民」「国民新」「みんなの党」「新党改革」「たちあがれ日本」「創新」「幸福実現」
- 採点対象の政策分野は「労働・雇用」「財政・社会保障」「政治参画」の3分野。

- 採点方法

- 採点は、「世代間格差を改善する政策かどうか」を若者度として縦軸に、「妥当性・明確性・財源・工程」の各観点からの政策評価を横軸に行われる(各100点満点)。
- メンバー各自の採点結果の平均値。

労働・雇用政策

労働・雇用	評点										
	民主	自民	公明	共産	社民	みんな	国民新	新党改革	たちあがれ	日本創新	幸福実現
若者度	35.0	75.0	35.0	-20.0	-17.5	60.0	-16.3	12.5	20.0	20.0	2.5
政策評価	25.0	46.3	23.3	-25.0	-17.5	38.8	-15.0	20.0	22.5	8.8	3.5



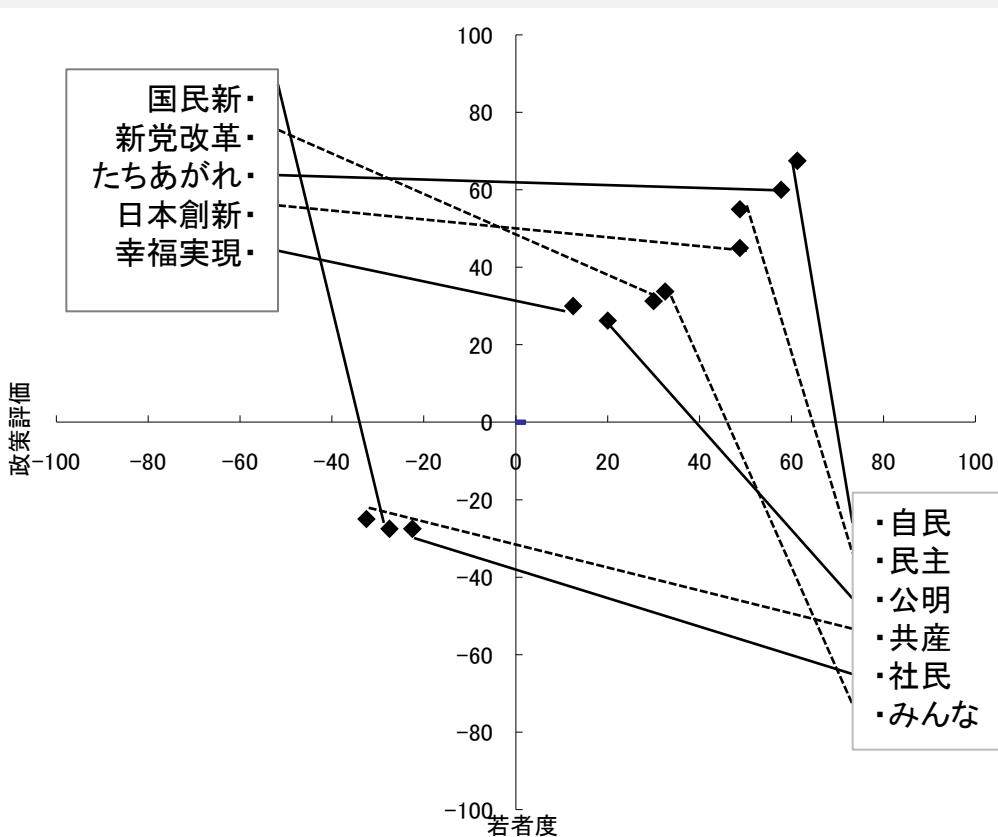
◆労働市場の流動化を明記する自民、みんなが高評価。

◆規制強化で対応を図る社民、共産、国民は雇用減という観点からマイナス。

◆各種補助金等のバラマキのみに依存するその他各党は踏み込みが甘い。

財政・社会保障政策

財政・社会保障	評点										
	民主	自民	公明	共産	社民	みんな	国民新	新党改革	たちあがれ	日本創新	幸福実現
若者度	55.0	67.5	26.3	-25.0	-27.5	33.8	-27.5	31.3	60.0	45.0	30.0
政策評価	48.8	61.3	20.0	-32.5	-22.5	32.5	-27.5	30.0	57.8	48.8	12.5



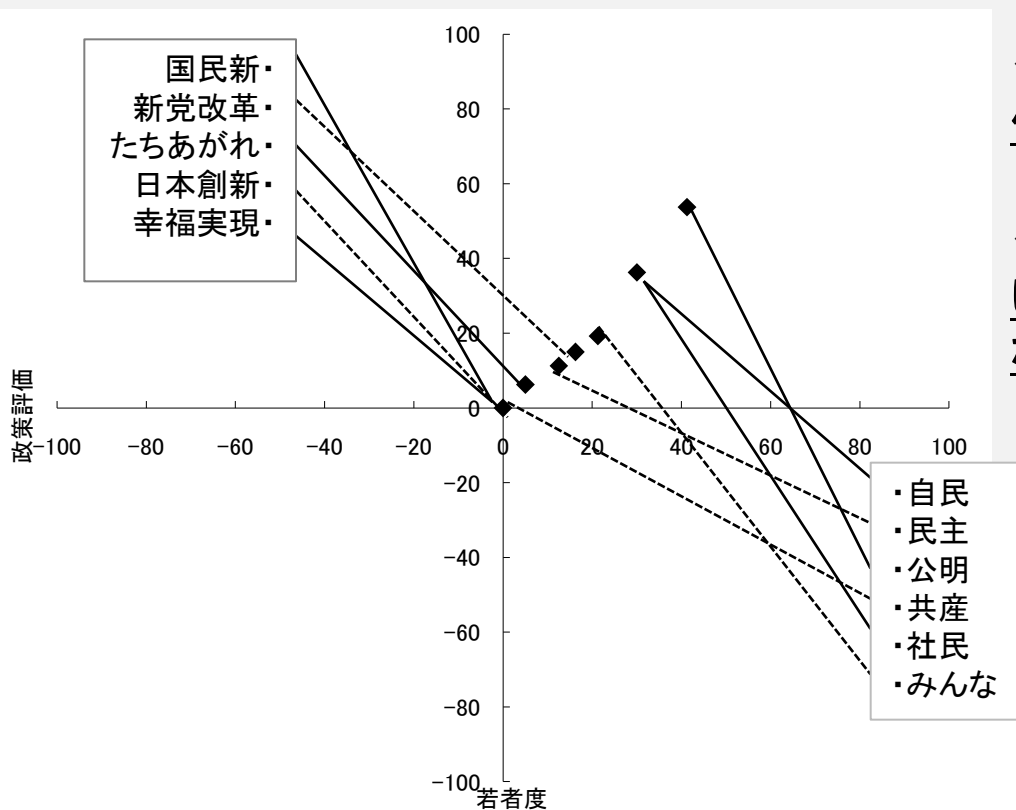
◆ 増税回避は世代間格差を拡大させる。経済成長のみでは財政再建は不可能。世代間格差も放置されるためマイナス評価。

◆ 増税明記の自民、たちあがれ、創新が高評価。みんなの党は財政で低評価。

◆ 財政出動による経済政策をベースとする社民、国民、共産は低評価。

政治参画

政治参画	評点										
	民主	自民	公明	共産	社民	みんな	国民新	新党改革	たちあがれ	日本創新	幸福実現
若者度	11.3	36.3	53.8	0.0	37.5	19.3	0.0	15.0	6.3	0.0	0.0
政策評価	12.5	30.0	41.3	0.0	31.3	21.3	0.0	16.3	5.0	0.0	0.0



◆ 18歳選挙権を明記する公明が高評価。

◆ インターネット選挙解禁や世襲制限といったキーワードは散見されるが、主要な争点とはなっていない。

まとめ

- 昨年度総選挙時に実施した評価に比べ、全体的に若者よりの政策が増えた。
- 特に雇用政策において、流動化を明言する政党が複数登場したこと、ツケの先送りではなく増税を明記する政党が過半を超えたことは、若者にとって大きな前進である。
- しかし、それでも財源は不足感が強く、社会保障について抜本的な議論が何もなされていない点は問題である。なお、菅首相は税のみでなく、年金の超党派協議も呼びかけており、与野党の今後の対応を注視したい。